平成23年度に実施した事務事業の評価

番号	13041	事務事業名	海洋性スポーツ普及調査研究事業	所管課	市民活動推進課

総合計画体系（後期）			
	部	1	市民活動の推進
	章	2	生涯学習の推進
	節（施策）	2	生涯スポーツ活動の推進

【将来像】

後期基本計画の節（施策）の目標です。

スポーツをする人がいて、みる人がいて、支える人がいます

【事業の目的】

対象（誰・何）が、どのような状態になることを目指していますか？

市民が海洋性スポーツを身近に接することにより、海洋性スポーツの普及、海に対する安全教育、海洋環境の保全を推進していく。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			23年度		目標値			
			20年度	21年度	22年度	目標	実績	24年度	25年度	26年度	27年度
参加人数		人数			750	1000	1020	1050	1100	1150	2000

【事業の内容】

対象（誰・何）に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

本市の特性である海浜等の水辺を活用した海洋性スポーツの普及等に向け、全国的に海洋性スポーツを通した青少年の育成を行っているＢ＆Ｇ財団と連携し、財団のメニューである指導員養成や各種事業の活用等調査研究を行う。

事業費（単位：千円）		22年度決算	23年度決算	24年度予算
事業費合計		943	1,199	2,349
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	943	1,199	2,349
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

平成23年度に実施した事務事業の評価

【平成23年度の実施結果】

23年度 実施計画	福津市とB&G財団と連携しながら勝浦浜や釣川河口域を拠点としたカヌーやヨットなどの体験会及びビーチフットボールのイベントを開催し、海洋性スポーツ普及の調査研究のとりまとめ及び検証を行う。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 　バナナボート、サーフィンやビーチフラッグスなどの海洋性スポーツの体験イベントとしてマリンフェスタを開催し、小学生等、多くの参加者がその体験をとおし、海の楽しさを提供、安全やルールを周知することができた。また、ビーチフットボール会では、市内外から多くの参加があり、宗像の魅力の発信、海洋性スポーツの推進に寄与することができた。

【担当課の一次評価】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している 9　法令等により市に実施義務がある	1	マリンフェスタ・ビーチフットにおいては、募集人員（チーム）を上回る申し込みがあった。
民間、国、県、市の他の事業と目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している 9　法令等により市に実施義務がある	1	

有効性の評価	評価	その評価をした理由
目的に対しての成果はどうなっていますか？ （成果指標の「23年度」欄の目標を達成できていない場合は「3」を記入） 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる 9　法令等により市に実施義務があり、有効性を判断できない	1	一定の参加者があり、観光的要素としても有効である。

効率性の評価	評価	その評価をした理由
コスト効率・業務効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	2	

25年度の事務事業に向けての総合評価と改善策

内容・予算		総合評価	具体的な改善策（いつまでに何をしますか？）
内容	拡充	現事業の推進に加え、釣川河口域及び勝浦漁港を中心に海洋性スポーツの拠点施設を整備し、海洋性スポーツの普及を推進する。	マリンフェスタ、ビーチフットボール大会、ＯＰヨット大会、親子ヨット教室の開催に加え、海洋性スポーツの拠点整備を進めて、より一層の海洋性スポーツの普及を推進する。
予算	拡大		

【平成25年度に向けての二次評価（最終評価）】

評価		理由及び検討事項
内容	要検討	艇庫整備設計については、整備に向けて県や福津市との調整が必要であるため内容は「要検討」とする。予算は艇庫の設計委託等のため「拡大」とする。
予算	拡大	